



2014年11月14日

RA 神奈川 事務局

第4回日本アンプティサッカー選手権大会へRA 神奈川から大会審判員を派遣致しましたので、報告を致します。

#### ○期間および場所

1st-Round 東日本地区 2014年9月14日(日) 千葉県市原市スポレクパーク

1st-Round 東日本地区 2014年9月21日(日) 神奈川県等々力第2サッカー場

Final-Round 東日本地区 2014年10月12日(日) 神奈川県川崎市鷺沼フロントタウン

#### ○大会派遣審判員：高橋幸治氏、沼端聖美氏、兼井新一氏 計3名 (RA 神奈川会員)



#### 【第4回日本選手権大会】

(左二人目から RA 東京/加藤慎一氏、森勝嗣氏、右端が RA 神奈川/高橋幸治氏)

#### ○これまでの経過

2013年の前回大会については、関東地区からの審判派遣は、東京都サッカー審判協会(RA 東京)と大学学連からの大会審判派遣のみでしたが、今年2014年開催よりRA 神奈川(神奈川県サッカー審判協会)もRA 東京様と一緒に大会審判員を派遣することになりました。

#### ○審判経験

NPO 法人日本アンプティサッカー協会の審判委員会委員長 森勝嗣氏と前回から参加されているRA 東京理事の加藤慎一氏から試合前に、競技規則やファウル判定に関する注意事項等のレクチャーを受け、即実践での試合担当をさせて頂きました。

ビデオで事前の情報を入手していましたが、実際に観戦をして、迫力とスピードには驚きを感じました。ファウル判定では、フィールドプレイヤーの使う杖(クラッチ)にボールが当たることの扱いには悩まされ、不可抗力で杖にボールが当たることが多く、「意図的にボールを扱う」との見極めが大変難しかったです。

引き続き、今後もRA 神奈川はRA 東京と連携し、アンプティサッカーを支援していきます。

今回参加頂いた方からの感想も頂いておりますので、ご紹介させていただきます。

◎高橋 幸治氏

「今回、第4回アンプティサッカー選手権2014にRA神奈川から参加させていただきました。参加する前は、始めてということもあり「私にできるかな。」という不安もありましたが、会場に入ると眼の中に飛び込んでくる情報が新鮮で、さらには感動的な場面が多くあり、気が付くと審判員の一員として活動している自分がいました。

実際にサッカーでいう第4審、副審という立場で審判をさせてもらい、その競技特性からなる判定等の難しさを実感しました。第3審では、サッカーではない1分間のタイムアウトがあり、第2審としてフィールドに入っている判定では、ボールがクラッチに当たった時の判定や身体のバランスがとりづらいため、その際の見極めなどその競技特性からくる判定の難しさを実感しました。

今回の大会では、PK、延長戦とひととおり試合を見ました。実際に審判として経験する機会を得たのですが、それ以外に何よりも選手ひとりひとりがグラウンドの上で輝いている姿、一生懸命に頑張っている姿やチームメイトだけでなく対戦相手等への思いやり、優しさなどを選手達から感じることができ、スポーツマンシップとは、生きるとはなど、日々の生活で忘れていた大切な多くのことを思い出し学ばせてもらえました。今後、さらにアンプティサッカーの認知度が深まり、サッカーをしたいと願う

障害を持った方々が、もっと身近にサッカーが出来る環境が多く整っていくことを願います。また、いつの日か機会があれば参加させていただきたいと強く願う次第です。ありがとうございました。」

◎兼井 新一氏

「今回のお話を頂き、自分自身で不安もありました。気持ち的にはボランティアとしての参加を考えて、1st-Round 東日本地区大会の際、審判勉強会があるとの参加案内があったので、気楽に千葉県市原市スポレクパークまで行きましたが、森様から説明を受け、第2審の割当を頂いてしまいました。白熱した試合をしている中、一緒にサッカーをやっているような感じになり始め、自分がボランティアでの参加という少し高い目線で、ピッチにいることが恥ずかしくなり、サッカーと一緒に楽しもうという気持ちに変化してきました。

選手も、スタッフも家族の方々も、支援している方々みんな、サッカーを楽しんでいる姿に、大変良い雰囲気であり、審判員としての参加ではありましたが、何か熱いものを貰ったような気持ちで、市原市より電車で帰宅しました。その後、Final-Roundまで全日程に参加させて頂き、白熱した好ゲームを見ることができました。今回、この機会を与えて頂いた皆様に感謝いたします。来年も一緒にアンプティサッカーを楽しみたいと思います。」